



平取町ゼロカーボンシティ宣言

近年、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの増加を要因とする地球温暖化の進行により、世界規模で自然災害が増加しています。国内においても、これまでに経験したことのない猛暑や集中豪雨、大型台風などが頻発し、私達の生命や暮らしが脅かされる状況にある中で、地球規模による温暖化への対応が急務となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保つとともに、1.5度に抑える努力を追及すること」とされ、そのためには2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが求められており、我が国においても、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までにカーボンニュートラル（温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること）を目指すこととしています。

このような国内外の動向を踏まえ、平取町においても、いま直面している地球温暖化という課題に対し、町民、事業者、町が一体となり、脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー活動を積極的に推進することが必要です。

町民の皆さまが安心して暮らし続けられるよう、また、平取町の豊かな自然と調和した環境を、未来を担う次世代に引き継いでいくためにも、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「平取町ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年（2022年）12月15日

平取町長

遠藤 桂一